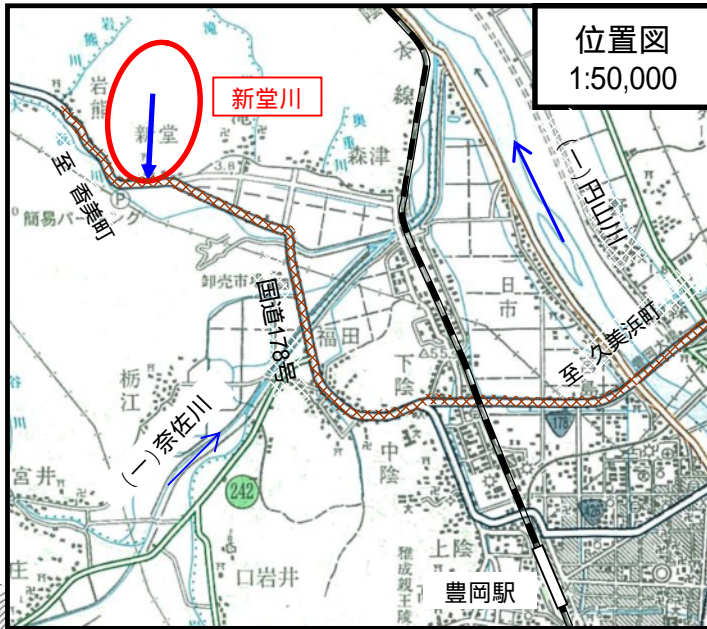


投資事業評価調書（新規）

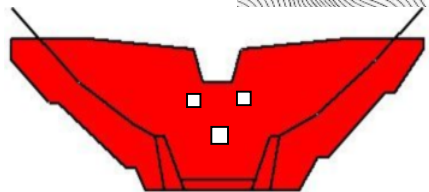
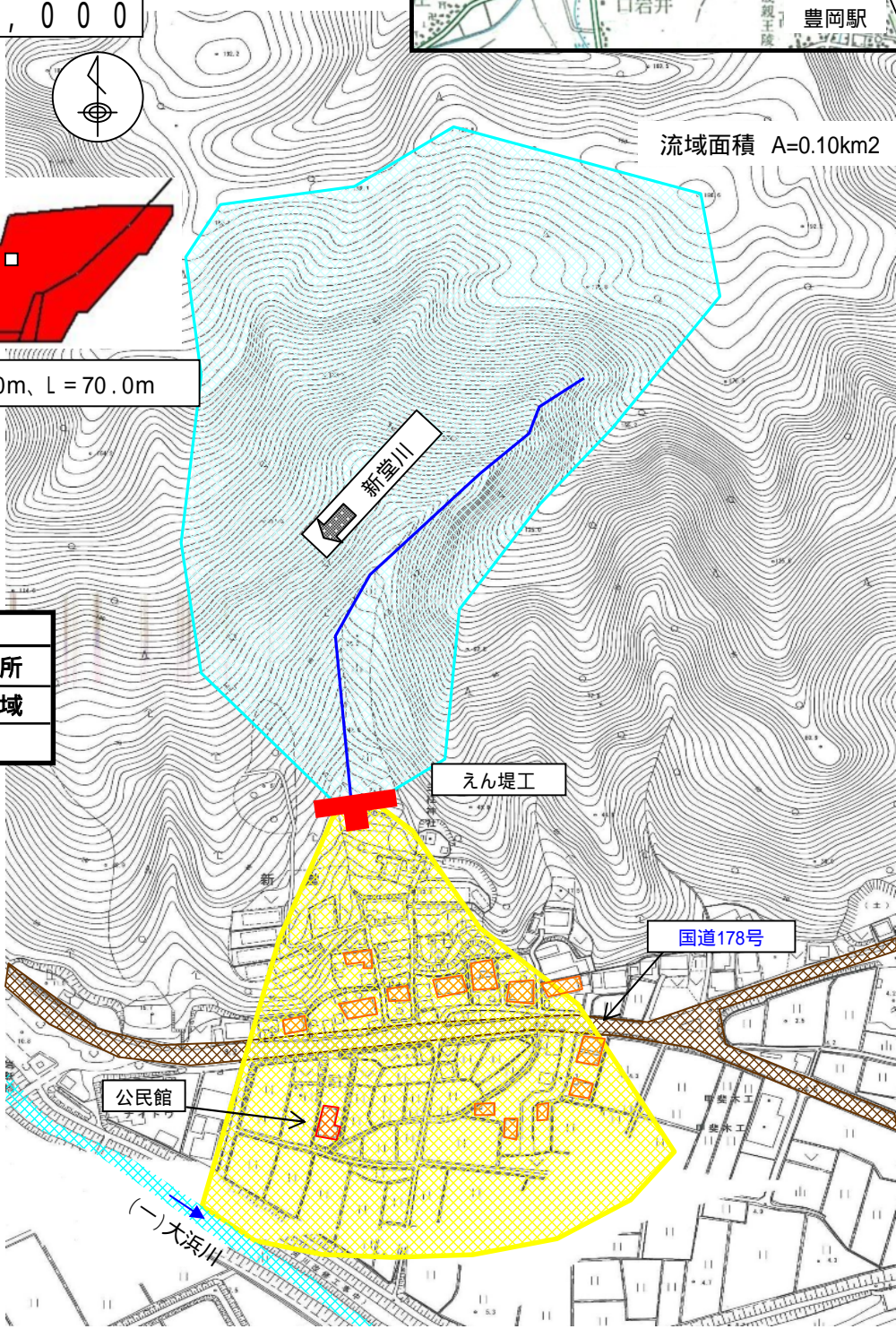
部課室名	砂防課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	砂防課長 松本正利 (樋口和夫)	内線	4459 (4465)
事業種目	砂防事業	事業名	事業区間	総事業費	1.6億円
		通常砂防事業 しんどう 新堂川	豊岡市 しんどう 新堂	内用地補償費	0.1億円
所在地				着手予定 年 度	完成予定 年 度
豊岡市新堂				H23	H25
事業目的			事業内容		
土石流対策 当溪流は土石流危険溪流に該当し、溪岸の浸食が進むなど、土石流発生危険性が高まっている。このため、えん堤の設置により、土砂災害から人家・国道等を保全し、地域の安全・安心な暮らしを守る。			・砂防えん堤工 1基 (H = 9.0m, L = 70.0m) [負担割合 国:1/2、県:1/2]		
評価視点	評価結果の説明				
(1)必要性 〔流域の状況〕	・(一)円山川水系奈佐川に流入する土石流危険溪流 ・近年の降雨により溪岸の浸食が進んでおり、流域の荒廃が進行している。 ・溪床には不安定土砂が厚く堆積しており、土砂災害の危険性が高い。				
〔保全対象等の状況〕	・土石流が発生した場合の氾濫面積は約4ha(長さ300m、最大幅300m程度)に及ぶ。 ・ <u>人家13戸、国道178号(緊急輸送路)、公民館(避難所)</u>				
(2)有効性・効率性 〔効果〕	・平成18年度に土砂災害警戒区域を指定済みであり、警戒避難体制の整備によりソフト対策が進められている。これに加え更にハード整備による土砂災害対策の充実を図り、地域の安全・安心な暮らしを守る大きな効果がある。				
〔事業執行環境〕	・工事用道路として市道からの寄りつきが容易であるなど、円滑な事業執行が可能である。				
(3)環境適合性	・国道からの視認性を考慮し、化粧型枠等により周辺景観に配慮する。また、工事による掘削法面等については緑化を図るなど環境保全に努める。				
(4)優先性	・人家とともに国道や災害時に防災拠点となる公民館の保全を図る必要があるため、早期着手に対する地元要望が強い。 以上より、H23年度に事業着手し早急な対策が必要である。				

しんどうがわ
新 堂 川
 [豊 岡 市]



位置図
 1:50,000

計 画 概 略 図
 縮 尺 1 : 5 , 0 0 0



えん堤工 H=9.0m、L=70.0m

凡 例	
	事業実施箇所
	被害想定区域
	保全人家等